

横浜市芸能センター 横浜にぎわい座

平成 24 年度事業計画

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 3 階地上 13 階建ての地下 2 階から地上 4 階、及び地上 5 階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4358.97 m ²
開館日	平成 14 年 4 月 13 日

2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通 4-40 商工中金横浜ビル 5 階
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の使命】

平成 24 年度は第二期指定管理期間 2 年目かつ開場十周年を迎える年度です。開館以来、様々な創意工夫により確立してきた、横浜にぎわい座ならではの運営手法を「継承」しつつも、時代の変化やニーズを考慮し、更なる「発展」を目指し、各種運営機能（自主事業・施設運営・施設管理）の充実を図ります。

【業務取り組みの基本的な考え方】

自主事業については、団体や流派の垣根を越えた出演者によるオリジナリティある多彩な公演や、若手演者の育成公演など、これまで展開してきた企画内容を「継承と発展」させることで、大衆芸能による都市の「魅力・活力の創出」に寄与していきます。公演企画については、開場十周年記念事業を軸に、市民のニーズに合致した質の高い内容を提供していきます。アウトリーチ・市民協働など、23 年度から取り組みを強化してきた分野についても、引き続き充実させていきます。また、インターネットを通じた情報発信の強化等により、より幅広い層に向けた広報展開を行い、より多くの来館者獲得に努めます。

施設運営については、大衆芸能専門館ならではの特性を活かした利用法の開発やこれまでの課題

改善に努め、貸館利用率の底上げを図ることにより収入を向上させます。

施設管理については、引き続き「安全・安心・快適」な施設を利用者に提供できるよう、計画的かつ効率的な維持管理を行っていきます。

これらの積極的な取り組みを足掛かりに、「大衆芸能による横浜ならではの未来創造」を施設全体で多角的に推し進め、横浜市の観光・創造都市戦略、ならびに野毛地域の活性化に寄与します。

(2) 平成 24 年度の業務の方針及び達成目標

①自主事業について

平成 24 年度は、第二期指定管理 2 年目であると同時に、開場十周年を迎える年度となります。開場十周年記念事業は、定例演目のさらなる充実をはかりつつ、より訴求力の高い出演者による公演や、展示等の関連企画も交えながら実施していきます。さらに、十周年を契機とする情報発信や新規サービスなどの取り組みを通じて、横浜にぎわい座をより広く周知し、新たな顧客層を獲得する絶好の機会としても位置付けます。

また、近隣の学校に向けて実施している「寄席体験プログラム」および、学校関連機関へのアウトリーチ、大衆芸能や芸術文化とは異なる分野との協働事業を実施するほか、施設間連携として「坂あがりスカラシップ」を継続実施します。

②施設運営について

平成 24 年度は、大衆芸能専門館ならではの特性を最大限発揮できるような新たなサービスの開発やこれまでの課題改善に努めます。これらの取り組みにより施設の周知を図ると共に貸館利用率の底上げを実現していきます。

③施設管理について

平成 24 年度も引き続き、来館者にとって「安全・安心・快適」な環境提供に努め、施設のすみずみに渡る細やかな気配りを心掛けて参ります。

④その他について

経費執行の抜本的見直しにより、サービスの質を維持しつつ厳しい経済情勢に見合った健全な経営への転換を図ります。

4 業務の取組みと達成指標

(1) 自主事業にについて

(ア) 鑑賞機会提供の安定的開催と充実について (鑑賞機会提供事業)

[取組み内容]	[達成指標・成果]
①経常事業として、寄席形式の「有名会」、真打 4 名によるネタ出し公演「名作落語の夕べ」、独演会・一門会といった基幹シリーズ等を実施する「企画公演」に加え、開場十周年記念に見合った華やかで、かつ、幅広い層のニーズに応える公演を実施します。	●経常事業 <input type="checkbox"/> 大衆芸能専門として、「常打ち公演（毎月 1 日～15 日）」を中心とした主催事業を年間 250 公演以上実施します。 <input type="checkbox"/> 各月 2 公演以上の大入り（入場数 300 名以上）を達成。 ●「有名会」 ■開場十周年を契機に「有名会」入場者の拡充

	<p>のための施策（バックステージツアー等の付帯事業実施、特定日や特定対象への入場料割引設定、チケット購入者へのポイントカード発行等）を実施。「有名会」への来場習慣の定着を図り、平成 23 年度実績の 10%増の集客を目指します。</p>
--	---

(イ) にぎわい座からの創造発信について（創造発信事業）

<p>[取組み内容]</p> <p>①大衆芸能の伝統を継承しながら、新たなものを発信していくことを目指して、「企画公演」の中で、将来の「再演に耐えうる」企画を実施します。</p> <p>②「創造の場」として近隣に位置する「急な坂スタジオ」「STスポット横浜」との連携による、新進芸術家の作品制作の支援と発表機会を提供する「坂あがりスカラシップ」を継続実施します。</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>●企画公演</p> <p>□創造発信公演として、これまでの実施してきた企画の再演、または、新規の内容による公演を 1 回以上実施し、大入り（入場 300 名以上）を目指します。</p> <p>■「のちに続いてゆく作品」としての評価を得られることを目指します。</p> <p>●「坂あがりスカラシップ」</p> <p>□新進アーティストの制作活動を支援するとともに、これまで支援してきたアーティストの公演を 1 回以上、にぎわい座で開催し、その成果を広く発信します。</p>
--	---

(ウ) にぎわい座を拠点とした若手実演者の育成について（育成事業）

<p>[取組み内容]</p> <p>①芸能ホール公演を中心に、若手真打、二ツ目の演者をはじめ、若手演者を積極的に登用した企画を実施します。</p> <p>②開場十周年記念事業を視野に、小ホールの若手育成公演である「登竜門シリーズ」を継続して実施するとともに、その演者が小ホール公演で勉強を重ね芸能ホール公演開催へとつながっていった出演者との競演公演などを開催します。</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>□若手実演者を中心とした公演を年 7 回以上、各回 100 名入場目標で開催します。</p> <p>□小ホールでの若手育成公演の年間 12 回以上の開催と、この企画の過去シリーズへの出演者との競演企画の実現(1 回以上)により、『小ホールで研鑽、芸能ホールへ』という形を来場者にもアピールし、若手実演者を応援する機会づくりに努めます。</p>
--	--

(エ) 多様な世代に向けた教育普及活動の拡充について（体験・学習事業）

<p>[取組み内容]</p> <p>①大衆芸能の伝統を継承・発展させるとともに、大衆芸能を活用した次世代の育成を推進するため、「学校プログラム」や「寄席体験プログラム」等を行います。</p> <p>②「有名会」等の経常事業を活用して、子供へ</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>○「学校プログラム」</p> <p>□コーディネーター業務を 2 回以上行い、学校カリキュラム内で芸術体験の機会を提供します。</p> <p>●「寄席体験プログラム」</p>
---	--

<p>の大衆芸能の鑑賞機会の増加をはかります。</p>	<p>□継続開催により、「寄席」の魅力を感じてもらいます（1500名以上）。</p>
-----------------------------	--

(オ) 連携による大衆芸能振興の展開について（連携事業）

<p>[取組み内容]</p> <p>①23年度に協働企画を実施した「象の鼻テラス」のような大衆芸能との関係性や実績がない施設と連携した企画を実施していきます。</p> <p>②「NHK文化センター」等との連携により、幅広い層に向けた大衆芸能や寄席の魅力を学ぶ講座を開催していきます。</p> <p>③財団内の専門館施設間のネットワークの強化のため、専門施設の担当者間で、定期的、かつ緊密な情報交換や連携のための場を設けます。</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>□他の施設や組織への積極的な大衆芸能に関する情報やノウハウの提供、企画制作への協力を行うことで、大衆芸能のすそ野の拡大を図っていきます。（年間10件以上の情報提供・制作協力を実施）</p> <p>□全年齢に向けて、経常企画と連動したレクチャー企画や体験講座を3回以上開催し、公演以外で大衆芸能への接点を提供します。</p> <p>■専門施設間連携プロジェクト内のミーティングを定期的に開催（月1回程度）していくことで、情報共有・蓄積を積極的に行い、施設運営の一層の円滑化とサービスの向上に努めます。</p>
---	--

(カ) 大衆芸能に関わる市民活動への支援について（市民協働による事業や運営の展開）

<p>[取組み内容]</p> <p>①大衆芸能に関連する活動に取り組む施設や組織に向けて、にぎわい座が蓄積している情報やノウハウ、ネットワークを積極的に提供していきます。</p> <p>②大学生のインターンシップや、小中高校生の職業体験等を積極的に受け入れていきます。</p> <p>③大衆芸能に関する疑問や問い合わせに対して、スタッフの派遣等も含めた、丁寧な対応を行っていきます。</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>○「野毛大道芸」「野毛まちなかキャンパス」</p> <p>□広報協力や展示やレクチャー企画への会場提供（年3回以上）への協力します。</p> <p>□学生の受入れ（年5名以上）を実施。地域の中に存在する「演芸場」としての存在感をPRしていきます。</p>
--	--

(キ) 大衆芸能情報センターとしての情報拠点化について

[取組み内容]	[達成指標・成果]
①開場十周年記念の企画展を中心に、情報コーナーを活用した情報発信の充実に努めます。 ②チラシラックの増設を検討し、情報コーナーに定期的に立ち寄りたくなるよう目指します。 ③公演情報の蓄積のため「電子大福帳」データベースの維持をしていきます。	□開場十周年記念企画の特別展示のほか、大衆芸能関連展示を年3回以上開催します。 ■館内のチラシラックの増設や効率的な配置方法を検討します。 ■「電子大福帳」へ、すべての主催公演の情報（公演日、演者、ネタ等）の入力を行い、今後の企画検討の際の資料として役立てます。

(ク) 地域活性化への貢献について

[取組み内容]	[達成指標・成果]
①地域の地域活性化のための団体である「野毛地区街づくり会」との連携を中心として、街のにぎわいの創出に寄与していきます。 ②施設の立地する「中区、および西区」の区役所等との連絡体制を強化し、住民に向けた施設の知名度アップや来場機会の増加を図っていきます。	■地域の飲食店等と連携した割引制度や集客・広報活動を実施します。 ■地域の組織や中区・西区役所のイベント等の中で、施設のPR活動を展開していくことで、施設への来場者を増やすとともに、立地する「野毛地区」への注目度のアップをはかります。

(ケ) 市の文化政策との連携について（都市戦略との連携）

[取組み内容]	[達成指標・成果]
①「横濱ジャズプロムナード2012」会場のひとつとして、のげシャレにおける公演を市民とともに実施します。 ②横浜市芸術文化教育プラットフォームと連携した、教育普及目的アウトリーチ事業「学校プログラム」に参加します。 ③のげシャレで開催する「坂あがりスカラシップ」公演で、TPAMに参画します。 ④「野毛大道芸フェスティバル」「野毛まちなかキャンパス」等の地域の活性化イベントに参加・協力します。	○横濱ジャズプロムナード □のべ2日間参加。横浜都心部の活性化や市民協働の推進に寄与します。 ○学校プログラム □2プログラム以上参加。大衆芸能の創造性を活用した次世代の育成を目指します。 ○TPAM □1公演参加。若手アーティストと国内外ディレクターとの接点を創出するとともに、海外からの来訪者に日本の伝統的大衆芸能施設を紹介し、国際交流活動の一端を担います。 ○大道芸フェスティバル □2F展示コーナーを、大道芸フェスティバルの写真展に1回以上提供します。 ○野毛まちなかキャンパス □1回以上の講座提供、2回以上の会場提供を実施。野毛地区の活性化に寄与します。

※文化事業の主催日数

年間 214 日間

主催文化事業数：239（通年情報系・展示事業含まず） 共催文化事業数：3

※文化事業の概要

内 容	開催数
芸術文化へのアクセス拡大事業	239
新進芸術家発掘拡大事業	25
市民文化活動支援事業	9
市民協働推進事業	3
芸術文化に関する情報の収集及び提供事業	2
合 計	278

（２）施設の運営について

（ア）大衆芸能専門館としての顧客満足度の高い運営の実現について

[取組み内容]	[達成指標・成果]
<p>①大衆芸能利用が多い劇場のリサーチを行い、より利用者のニーズに沿ったサービスを提案します。</p> <p>②来館者へのサービスとして、野毛の街と連携してグルメ情報の提供とお弁当のリニューアルを行い、更なる顧客満足度の向上を目指します。</p> <p>③過去の利用例等に基づいた貸館研修を実施します。</p>	<p>□大衆芸能利用の多い劇場のリサーチ活動を 2 件以上行い、大衆芸能専門館ならではのサービスを 1 件以上導入します。</p> <p>□年度内に「野毛グルメマップ」を 1 刊発行（10,000 部発行）のげ茶屋販売の弁当改良を 1 種類以上行います。</p> <p>□実践的な貸館研修を年度内 1 回以上実施します。</p>

（イ）施設の利用促進、利用開発による利用率向上について

[取組み内容]	[達成指標・成果]
<p>①施設の利用促進を図るべく、特に平日に空きがある小ホールを中心に新たな割引制度を導入します。</p> <p>また、割引制度の周知と併せ、各種メディアに積極的に施設の PR 活動を行います。</p> <p>②動画配信環境の再整備を行います。</p>	<p>■新たな利用割引制度導入により、新規顧客の獲得及び定着を図っていきます。</p> <p>□貸館利用者の動画配信サービス提供を年度内に 1 件以上実施し、横浜にぎわい座の PR に繋がります。</p> <p>□芸能 H：80%、小 H：60%、練習室：75%、制作室：40%の利用率を達成します。</p>

① 開館日数 : 341 日（休館日：月 2 回の施設点検日）

② 目標稼働率 : 芸能ホール：80%、小ホール：60%、練習室：75%、制作室：40%
（利用枠に対する稼働率）

(ウ) ニーズに基づくサービスについて

[取組み内容]	[達成指標・成果]
<p>①引き続き、自主事業へのアンケート挟み込みと2階情報コーナーへのアンケートボックス設置を行い、立ち寄られたお客様のニーズの把握に努めます。</p> <p>②アンケートに寄せられた苦情については、職員間での情報共有に努めます。</p>	<p><input type="checkbox"/>年間 155 件以上の自主事業公演へアンケート挟み込みを実施します。</p> <p><input type="checkbox"/>アンケート等によるお客様ニーズを踏まえ、新たに開発した「グッズ」を年度内に1種類以上提供します。</p>

(エ) 広報取組みについて

[取組み内容]	[達成指標・成果]
<p>①横浜にぎわい座の魅力や価値をより明確に表現するとともに、それを元に事業内容や広報業務のブラッシュアップを行います。その上で、プロモーション上活用できるすべての方法を改めて体系的に把握し、これまで行ってきた広報活動を、より効果的・効率的なものに改善します。</p> <p>②より幅広い層へ、大衆芸能や施設そのものの魅力を発信していくため、新たな広報ツールやネットワークを活用します。</p> <p>③開場十周年企画を広報活動の絶好の機会ととらえ、施設のさらなる周知をはかります。</p>	<p>■チラシ・ポスター等の印刷物の製作部数・形式・配布先や配布方法等を見直し、広報作業の効率化を図ります。</p> <p>■情報発信・相談窓口機能の拡充のため、webサイトのコンテンツやソーシャルメディアへの発信について検討・改善を行い、最新の情報を随時、かつ、適切な形で発信できる体制を構築していきます。</p> <p>■広報誌「賑々」を開場十周年記念号として10,000部発行します。</p> <p>■web展開等、より多くの方へアプローチできる発信方法を検討していきます（新規の広報媒体への掲載5件以上）。</p>

(3) 施設管理について

(ア) 安全・安心・快適な施設の維持管理について

[取組み内容]	[達成指標・成果]
<p>①大衆芸能施設として、ハード及びソフトの両面から安全確保に努めます。またお客様アンケートの施設評価の満足度向上を目指します。</p> <p>②高齢者や身体障害者にも思いやり溢れる施設づくりを推進します。</p>	<p><input type="checkbox"/>人身事故『ゼロ』の実現。</p> <p><input type="checkbox"/>アンケートの快適評価 4.5 達成。</p> <p><input type="checkbox"/>サービス介助士2級取得者1名確保。</p> <p><input type="checkbox"/>消防訓練の年度内2回実施。</p>

(イ) 施設予防保全への取組みについて

<p>[取組み内容]</p> <p>①館内各箇所の日々の整備点検実施を目指します。</p> <p>②施設管理会社との月に1度の定例ミーティングの実施。(舞台装置・照明・空調・エレベータ他)</p> <p>③マンション理事会との調整・連携強化を図ります。</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>□職員レベルで対応可能な修繕は、1週間以内に着手し速やかな修繕対応を心掛けます。</p> <p>■施設管理会社との定例ミーティングを(年間12回開催)実施。修理必要箇所の情報共有化を図り、スムーズな修繕対応を図ります。</p> <p>■マンション理事会の月1回参加により、共用部分に関する情報を積極的に入手します。</p>
---	--

(ウ) その他管理に関する実施業務 (概ね百万円以上または第三者に委託して実施するもの)

業務内容	実施者
舞台技術業務	委託により実施：株式会社横浜アーティスト
建物総合管理業務	委託により実施：株式会社東急コミュニティー
舞台機構保守点検業務	委託により実施：株式会社東急コミュニティー
舞台音響設備保守点検業務	委託により実施：株式会社東急コミュニティー
舞台照明設備保守点検業務	委託により実施：株式会社東急コミュニティー

(4) 収支について

(ア) 経費削減及び収入増加策について

<p>[取組み内容]</p> <p>①経費削減：事業及び管理に関わる委託契約の見直し・人員配置の見直し・印刷費等、従来の経費執行体制の抜本的な見直しを行います。</p> <p>②収入増加：開場十周年記念事業をはじめとする自主事業の広報宣伝活動の強化、貸館事業における新規割引制度導入によるホールセールの特化を推進。施設への来場者数拡大による入場料収入や利用料金収入の増加に取り組めます。</p>	<p>[達成指標・成果]</p> <p>□積極的な経費削減策と収入増加策への取組みにより、収支差額ゼロ以上を達成します。</p> <p>■厳しい経済情勢に見合った「健全な経営体質への転換」を図ります。</p>
--	---

(イ) 人員配置及び勤務体制

①人員配置

項 目	人 数	備 考
館 長	1	非常勤
副館長	1	課長補佐級
管理運営チームリーダー・事業チームリーダー	2	係長級
事務職員	6	管理系 3、事業系 3
アルバイトスタッフ (事務)	2	
カルチャースタッフ (受付)	28	

②勤務体制

基本：館長、副館長、ホールセールス専任者を除くスタッフでのローテーション制による運営。
各日の事業状況、貸館状況によって配置人数は変動。

A：事務室（早番 9:30～18:15 最小 2 名、遅番 13:30～22:15 最小 2 名）

管理運営チームリーダー・事業チームリーダー、事務職員、アルバイトスタッフ

B：受付窓口業務（A勤務 9:45～13:55 B勤務 13:45～17:55 C勤務 17:45～22:00）

5 収支予算額について

平成 24 年度収支予算書

項 目	予 算 額	備 考
収 入		
指定管理料収入	194,501,000	
利用料金収入	20,000,000	
事業収入	145,274,000	
その他収入	740,000	
合 計	360,515,000	
支 出		
人件費	90,628,000	
管理費	112,900,000	
事業費	140,512,000	
事務費	16,475,000	
合 計	360,515,000	
支 計	0	